

プロロジス、グローバル  
再生可能エネルギーグループを発足  
—スペインで計 4.8 メガワットの太陽光発電システムを新規導入決定—



プロロジスパーク サン・ボイ(スペイン・バルセロナ) 太陽光発電システム完成予想図

物流施設のグローバル・プロバイダー、プロロジス(世界本社: 米国コロラド州デンバー NYSE: PLD) は 2009 年 9 月 29 日、グローバルでの再生可能エネルギーに関するビジネスの創出や、プロジェクトの開発マネジメントサービスを提供するために「グローバル再生可能エネルギーグループ」を発足させたと発表しました。プロロジスはすでに欧州(フランス・ドイツ・スペイン)、アジア(日本)、北米(米国)の5カ国で太陽光発電や風力発電システムを導入しており、この「グローバル再生可能エネルギーグループ」の発足により、今までの知見を活かして今後も積極的に全世界で再生可能エネルギーの活用を進めていきます。

さらに、プロロジスはスペインのバルセロナにある「プロロジスパーク サン・ボイ」とマドリッドの「プロロジスパーク アルカラ」の合わせて 8 棟の施設屋根に、計 4.8 メガワットの太陽光発電システムを新規に導入すると発表しました。プロロジスは 2005 年にフランスで同社初の太陽光発電システムを導入しており、今回のスペインでの導入を含めると、計 20 棟の施設、約 67 万平方メートル(720 万平方フィート)の屋根に計 11 メガワット以上の太陽光発電システムの導入が完了します。

今回プロロジスはスペインにおいて、太陽光電力の大手供給会社である Recurrent Energy 社と施設屋根約 18 万平方メートル(200 万平方フィート)について賃貸契約を締結しました。Recurrent Energy 社はプロロジスより賃借した屋根に太陽光発電システムを設置し、発電した電力を再生可能エネルギーを普及・利用促進させるための固定価格買取制度により地元の電力会社に売却することになっています。太陽光発電システムの設置工事は、2009 年 10 月より開始する予定です。

プロロジスのスペイン国内における太陽光発電システムの導入は、タラゴナの「ペネデス ディストリビューションセンター」とザラゴザの「ザラゴザ ディストリビューションセンター」に次いで今回が 3 件目となります。

プロロジスは全世界で約 4,200 万平方メートル(4 億 5,000 万平方フィート)の平らな、太陽光が届きやすく、かつすぐに太陽光発電システムを設置することの可能な広大な施設屋根を所有しています。今回のスペインでの導入を含めても、太陽光発電システムを導入しているのはこの屋根面積全体の2%以下であり、今後も大規模な太陽光発電システム導入の需要に応じていく計画です。

\*本資料は、2009年9月29日、プロロジスが米国にて発表した英文プレスリリースの抄訳です。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先  
プロロジス 広報室  
TEL: 03-6215-9099  
E-mail: inquiry@prologis.co.jp